



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊部 幸顕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長 (氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	26,587	7.3	2,688	45.8	2,611	40.8	1,750	47.0
23年3月期第2四半期	24,786	2.1	1,843	93.3	1,854	91.5	1,190	105.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,160百万円 (547.3%) 23年3月期第2四半期 333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	42.33	—
23年3月期第2四半期	28.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	75,772	30,166	39.6
23年3月期	73,779	28,423	38.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,033百万円 23年3月期 28,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
24年3月期	—	11.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年11月8日)公表いたしました「剰余金の配当(第2四半期配当)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	10.1	3,900	17.8	3,800	20.3	2,500	35.7	60.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	48,290,173 株	23年3月期	48,290,173 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,940,961 株	23年3月期	6,937,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	41,350,928 株	23年3月期2Q	41,363,536 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	10
5. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 主要製商品売上高	12
(3) 新薬パイプラインの状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降停滞していた企業の生産活動が徐々に持ち直しつつあるものの、企業収益や雇用情勢は依然として厳しい状況が続いており、さらには円高の長期化や欧州における財政不安などの懸念材料も多く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましては景気停滞感などから個人消費が低迷するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は265億87百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。一方、利益につきましては、海外連結子会社の収益増と、東日本大震災の影響等により計画していた行事の中止や一部費用の第3四半期以降へのずれ込み等による販売管理費の減少から、営業利益26億88百万円（前年同四半期比45.8%増）、経常利益26億11百万円（前年同四半期比40.8%増）、四半期純利益17億50百万円（前年同四半期比47.0%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、14.0%（前年同四半期12.1%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内におきましては平成23年1月より長期処方が可能となったことを受け、市場浸透に一層注力した結果、引き続き売上を拡大いたしました。海外におきましても、ティロツツ・ファーマ社（Tillotts Pharma AG）の自販体制の推進等による営業力強化により引き続き売上を拡大いたしました。また、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」も堅調に推移いたしました。H₂受容体拮抗剤「アシノン」などの製品は、市場競争の激化の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は158億53百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCM及びそれに連動した店頭販売促進活動等の効果によりさらに製品認知度が向上し、売上を拡大いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」も堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」は、今年で4作目となる新しいテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持しましたが、個人消費の低迷などの影響を受け、売上は微減となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は106億24百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は1億9百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は757億72百万円となり、前連結会計年度末対比19億93百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が278億85百万円で、前連結会計年度末対比27億18百万円の増加、固定資産が478億86百万円で、前連結会計年度末対比7億24百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加6億61百万円、受取手形及び売掛金の増加7億47百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加9億11百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の減少7百万円、無形固定資産の減少2億45百万円、投資その他の資産の減少4億72百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は456億5百万円となり、前連結会計年度末対比2億50百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が232億58百万円で、前連結会計年度末対比67億31百万円の減少、固定負債が223億47百万円で、前連結会計年度末対比69億81百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加3億71百万円、短期借入金の減少76億27百万円、賞与引当金の増加1億63百万円等であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加70億71百万円、社債の減少1億円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は301億66百万円となり、前連結会計年度末対比17億42百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上17億50百万円、前期末配当の実施4億13百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億55百万円、為替換算調整勘定の増加7億89百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.2%上昇し、39.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、概ね計画通りに進捗していることから、前回発表いたしました通期連結業績予想からの変更はありません。

一方、利益面につきましては、第3四半期以降への経費のずれ込み等、当初の計画を上回る費用の発生は見込まれるものの、海外子会社の業績が引き続き順調に推移する見込みであり、前回発表いたしました通期連結業績予想からは増加する見通しです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 54,500	百万円 3,500	百万円 3,500	百万円 2,250	円 銭 54.41
今回修正予想 (B)	54,500	3,900	3,800	2,500	60.46
増減額 (B-A)	—	400	300	250	—
増減率 (%)	—	11.4	8.6	11.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	49,482	3,311	3,158	1,842	44.55

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,949,837	5,611,084
受取手形及び売掛金	12,309,222	13,056,866
有価証券	—	3,019
商品及び製品	2,710,728	3,538,748
仕掛品	578,596	681,047
原材料及び貯蔵品	1,944,720	1,925,819
その他	2,701,636	3,092,877
貸倒引当金	△27,331	△24,012
流動資産合計	25,167,411	27,885,452
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,570,238	6,686,071
土地	11,563,927	11,566,856
その他(純額)	3,403,607	3,277,705
有形固定資産合計	21,537,772	21,530,633
無形固定資産		
のれん	12,688,869	12,581,106
その他	1,241,044	1,103,485
無形固定資産合計	13,929,914	13,684,591
投資その他の資産		
投資有価証券	8,499,480	8,442,120
その他	4,710,269	4,294,903
貸倒引当金	△65,757	△65,534
投資その他の資産合計	13,143,992	12,671,489
固定資産合計	48,611,679	47,886,714
資産合計	73,779,090	75,772,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364,705	3,736,481
短期借入金	19,943,994	12,316,186
1年内償還予定の社債	1,200,000	1,200,000
未払法人税等	823,403	1,141,843
賞与引当金	1,078,077	1,241,707
返品調整引当金	137,817	140,930
売上割戻引当金	228,495	214,387
災害損失引当金	79,889	2,500
その他	3,133,534	3,264,671
流動負債合計	29,989,916	23,258,708

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
社債	200,000	100,000
長期借入金	14,381,808	21,453,217
退職給付引当金	177,445	176,524
資産除去債務	71,761	72,078
その他	534,523	545,329
固定負債合計	15,365,539	22,347,150
負債合計	45,355,456	45,605,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	25,656,976	26,993,901
自己株式	△7,303,181	△7,307,227
株主資本合計	30,361,939	31,694,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,037,749	△2,393,144
繰延ヘッジ損益	15,115	△40,656
為替換算調整勘定	△17,836	772,123
その他の包括利益累計額合計	△2,040,471	△1,661,677
少数株主持分	102,165	133,167
純資産合計	28,423,633	30,166,308
負債純資産合計	73,779,090	75,772,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	24,786,272	26,587,207
売上原価	9,279,877	9,369,100
売上総利益	15,506,395	17,218,106
返品調整引当金戻入額	169,984	137,817
返品調整引当金繰入額	178,946	140,930
差引売上総利益	15,497,432	17,214,993
販売費及び一般管理費	13,654,217	14,526,711
営業利益	1,843,215	2,688,282
営業外収益		
受取利息	1,186	2,891
受取配当金	152,498	161,626
出資金運用益	118,530	—
その他	65,893	36,653
営業外収益合計	338,109	201,171
営業外費用		
支払利息	139,502	150,469
シンジケートローン手数料	73,000	68,500
為替差損	82,655	19,343
その他	31,486	40,133
営業外費用合計	326,643	278,445
経常利益	1,854,681	2,611,007
特別利益		
固定資産売却益	15,485	168
貸倒引当金戻入額	10,041	—
清算配当金	—	55,964
特別利益合計	25,526	56,133
特別損失		
固定資産売却損	—	1,751
固定資産除却損	4,464	13,800
投資有価証券評価損	2,125	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	63,834	—
災害による損失	—	18,682
特別損失合計	70,424	34,234
税金等調整前四半期純利益	1,809,784	2,632,905
法人税等	618,906	861,668
少数株主損益調整前四半期純利益	1,190,877	1,771,237
少数株主利益	—	20,781
四半期純利益	1,190,877	1,750,456

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,190,877	1,771,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△824,663	△355,394
繰延ヘッジ損益	△609	△55,771
為替換算調整勘定	△31,889	800,181
その他の包括利益合計	△857,162	389,015
四半期包括利益	333,714	2,160,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,714	2,129,250
少数株主に係る四半期包括利益	—	31,002

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,809,784	2,632,905
減価償却費	1,131,792	1,209,262
のれん償却額	258,509	339,019
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8,707	△921
受取利息及び受取配当金	△153,684	△164,517
支払利息	139,502	150,469
売上債権の増減額（△は増加）	438,198	△504,890
たな卸資産の増減額（△は増加）	291,363	△813,548
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,872,997	306,856
前払年金費用の増減額（△は増加）	129,312	46,601
その他	560,029	△107,401
小計	2,740,517	3,093,835
利息及び配当金の受取額	153,890	164,590
利息の支払額	△143,037	△148,842
法人税等の支払額	△675,256	△580,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,076,115	2,529,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△396,061	△605,136
無形固定資産の取得による支出	△148,200	△70,725
投資有価証券の取得による支出	△1,518,323	△338,117
投資有価証券の売却及び償還による収入	153,355	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,155,752	—
その他	25,236	△72,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,039,746	△1,086,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△6,804,744	△7,615,416
長期借入れによる収入	12,052,310	8,708,534
長期借入金の返済による支出	△1,011,574	△1,656,918
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△3,979	△4,046
配当金の支払額	△329,872	△411,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,802,139	△1,079,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119,283	298,103
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	719,224	661,247
現金及び現金同等物の期首残高	3,442,345	4,817,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,161,569	5,478,975

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,830,718	9,853,433	24,684,152	102,120	24,786,272	—	24,786,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	123	123	154,124	154,247	△154,247	—
計	14,830,718	9,853,557	24,684,275	256,244	24,940,520	△154,247	24,786,272
セグメント利益	2,818,751	1,100,490	3,919,241	61,242	3,980,483	△2,137,268	1,843,215

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,137,268千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,853,565	10,624,082	26,477,647	109,560	26,587,207	—	26,587,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	49	189,648	189,698	△189,698	—
計	15,853,565	10,624,131	26,477,696	299,209	26,776,906	△189,698	26,587,207
セグメント利益	3,450,869	1,656,256	5,107,125	78,387	5,185,513	△2,497,231	2,688,282

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,497,231千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) その他の注記事項
(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

5. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	15,853,565	6.9
コンシューマーヘルスケア事業	10,624,082	7.8
報告セグメント計	26,477,647	7.3
その他	109,560	7.3
合計	26,587,207	7.3

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 主要製商品売上高 連結

(単位:百万円,端数切捨表示)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減(△)比(%)
1. 医療用医薬品事業	14,830	15,853	6.9
アサコール	3,129	5,266	68.3
アシノン錠75mg・150mg	2,970	2,912	△1.9
プロマック顆粒15%・D錠75	2,632	2,686	2.1
マーズレンS配合顆粒・配合錠ES	2,096	1,883	△10.2
新レシカルボン坐剤	416	450	8.1
アビテン	364	346	△4.9
ペオン錠80	357	316	△11.4
ランデル錠10・20・40	310	260	△16.0
その他	2,551	1,728	△32.2
2. コンシューマーヘルケア事業	9,853	10,624	7.8
コンドロイチン群	3,644	3,585	△1.6
ヘパリーゼ群	991	1,168	17.8
ウィズワン群	607	617	1.7
ハイゼリーB群	374	348	△7.0
ドルマイシン ドルマイコーチ軟膏群	276	290	5.0
その他	3,959	4,614	16.5
3. その他の事業	102	109	7.3
合 計	24,786	26,587	7.3

(3) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成23年11月8日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌 アンサー効能追加	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象	自社品
フェーズⅡ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮 作用 エタノール・ ステロイド配合剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍 プロマック	胃粘膜保護作用	導入品
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品 : 自社グループオリジナル品